

認定特定非営利活動法人

*ビクトリアの滝

ザンビアの辺地医療を支援する会

十分な医療の恩恵を受けられない辺地に支援の手を

アフリカの内陸国であるザンビア共和国では、政府を中心とした様々な国際機関、NGOなどの努力によりその医療状況は改善してきました。しかし、地方では十分な医療の恩恵を受けられない人々が数多くいます。道路などの整備が遅れているために、辺地（遠隔地）に住む人々は数時間から一日かけて、徒歩または牛車などでヘルスポストやヘルスセンターを受診しています。そのような地域を含めて、ヘルスセンターからスタッフが母子保健サービスを提供するためにアウトリーチ活動を実施していますが、そのサービスは予防接種など限定的で、道路事情が悪く中止になることが頻繁にあります。そのため、辺地の人々、特に五歳未満の乳幼児や妊産婦が基本的な医療サービスを定期的な受けられるようなシステムを確立することが急務です。



巡回診療の許可を受け、診療活動開始、そしてNPO設立へ



診療に集まるルアノの人々



診療に当たる山元医師



スタッフによる母子の指導

山元香代子医師は、現地住民、ヘルスセンタースタッフ、郡・州保健局関係者、ザンビア国保健省との協議を経て、2011年4月に保健省から巡回診療の許可を受けました。巡回診療の準備の後、10月からチボンボ郡ルアノ地区で月2回、2012年6月からは同郡カナカントパ地区で月1回の無償での巡回診療を始めました。

2012年7月7日には、多くの皆様のご協力により「**特定非営利活動法人ザンビアの辺地医療を支援する会**」（通称 **ORMZ**）が設立され活動を支えています（9月20日に認可を、さらに2015年1月28日には、寄附の税控除が認められる認定NPO法人に）。2015年末までに、延べ4地区、約15,000人以上の人々を診察し、基本的な医療サービスの提供とともに現地スタッフの研修や人々への健康教育を行ってきました。さらに、テレビで活動を取りあげていただいたのを契機により多くの方からの寄附をいただき、水道のないルアノ等3地区にこれまで13基の井戸を掘削し、地域の方達に歴史的なことととも喜ばれました。現在3地区の巡回診療や更なる井戸掘削等を進めています。これらの活動が認められ、2015年3月20日には医療功労賞を受賞しました。

多くのご支援をお待ちしています

賛助会員となって、資金面から活動を支援してくださる方を募集しています。（年会費 個人5000円、団体10000円）。入会ご希望の方はメールをお送りください（info@ormz.or.jp）。多くの皆様のご支援をお待ちしております。

会のホームページ <http://ormz.or.jp/> も是非ご覧ください。

法人理事長 日高良雄